

第七回 日本モビリティ・マネジメント会議 富山



JCOMM 2012



主催：一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議

共催：富山市・(公社) 土木学会・(株)新日本コンサルタント

オープニングセッション



平成24年度JCOMM賞 授賞式



国内の様々なモビリティ・マネジメントについての様々な取り組みや研究の中でも、

特に優秀な取り組みや研究を日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)実行委員会として選定し、その実現に貢献した団体・個人を表彰する。

これを通じて、**モビリティ・マネジメントの「実務発展」と「技術発展」**を期待する。

JCOMMプロジェクト賞

モビリティ・マネジメントの一連の取り組みの中で実施された「実務的な一プロジェクト」

JCOMMデザイン賞

モビリティ・マネジメントにおける実務的なプロジェクトにおいて実際に使用されたマップ、リーフレット、フォルダー、アンケート票等の各種ツール

JCOMM技術賞

モビリティ・マネジメント実務に資する技術の発展に、顕著な貢献をなした「研究業績」

JCOMMマネジメント賞

モビリティ・マネジメントにおける一連のマネジメント

(委員長) 石田 東生 筑波大学大学院 教授

(幹事長) 藤井 聡 京都大学大学院 教授

(委員ならびに幹事)

水嶋 智 国土交通省総合政策局交通計画課 課長
中村 英夫 国土交通省都市・地域整備局都市計画課都市計画調査室 室長
吉岡 幹夫 国土交通省道路局企画課道路経済調査室 室長
塚田 幸広 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究部長
藤岡 啓太郎 国土交通省国土技術政策総合研究所 都市施設研究室 室長
上坂 克巳 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究室 室長
廣瀬 健二郎 国土交通省道路局企画課道路経済調査室 課長補佐
野田 勝 国土交通省総合政策局交通計画課地域振興室室長
鈴木 通仁 国土交通省都市・地域整備局都市計画課都市計画調査室 課長補佐
小林 寛 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究室 主任研究官
原文宏 (社)北海道開発技術センター 理事
白水 靖郎 中央復建コンサルタンツ(株)事業開発本部ゼネラルマネージャー
牧村 和彦 (財)計量計画研究所研究部 次長
東 徹 (社)システム科学研究所 調査研究部 部長
宇野 昭弘 株式会社ケー・シー・エス 社会政策部 東日本ブロックマネージャー
山口 大輔 (株)建設技術研究所東京本社道路・交通部 グループリーダー
川崎 謙次 (株)千代田コンサルタント東日本事業部道路部景観デザイン課 課長補佐
谷口 守 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授
高山 純一 金沢大学理工研究域環境デザイン学系 教授
藤原 章正 広島大学大学院国際協力研究科 教授
高野 伸栄 北海道大学大学院工学研究科北方圏環境政策工学専攻 准教授
溝上 章志 熊本大学大学院自然科学研究科環境共生工学専攻 教授
井上 茂 東京医科大学公衆衛生学講座 准教授
谷口 綾子 筑波大学大学院システム情報工学研究科 講師
松村 暢彦 大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 准教授
山本 俊行 名古屋大学エコトピア科学研究所 教授
佐々木邦明 山梨大学土木環境工学科 准教授
鈴木 春菜 山口大学大学院理工学研究科社会基盤工学専攻 助教
菊池 輝 東北工業大学工学部建設システム工学科 准教授
神田 佑亮 京都大学大学院工学研究科 助教

学識経験者

政府関係者

コンサルタント

JCOMMプロジェクト賞



- 「実務的な一プロジェクト」の中でも、とりわけ、交通に関連する諸問題の緩和に実際に大きく貢献し、諸問題の抜本的緩和に繋がりが得る新規性を持ち、およびその完成度・応用可能性や取り組み姿勢がすぐれたプロジェクトについて、個人あるいは団体を対象として授与するものです。
- 「交通上の諸問題の緩和に対する実質的貢献」をはじめとして、「交通上の諸問題の抜本的緩和に繋がりが得る新規性」、「プロジェクト自体の完成度・応用可能性」、「取り組み姿勢」、ならびに「その他」の視点から評価されます。

JCOMMプロジェクト賞・受賞プロジェクト

映画・ラジオ・LRT・シビックプライドを活用した富山の地域文化の活用と発展を企図した『とやまレールライフ・プロジェクト』

富山市

高原 兄(ミュージシャン)

株式会社新日本コンサルタント

藤井 聡(京都大学大学院)

京都らくなんエクスプレス

—大学・民間・行政が協働で生み出し成長を続けるバスシステム—

京都大学大学院・低炭素都市圏政策ユニット

株式会社ケイルック

株式会社ジイケイ京都

合同会社京都まちづくり交通研究所

京都市

京都市右京区南太秦学区における

住民参加型バス利用促進MMの継続的实施

右京区南太秦自治連合会(会長:高岡 宏行)

京都市右京区役所

京都市交通局

朝倉 眞一(京都市文化市民局地域自治推進室)

土井 勉(京都大学大学院工学研究科・医学研究科安寧の都市ユニット)

映画・ラジオ・LRT・シビックプライドを活用した 富山の地域文化の活用と発展を企図した 『とやまレールライフ・プロジェクト』

富山市

株式会社新日本コンサルタント

高原 兄(ミュージシャン)

藤井 聡(京都大学大学院)

- レールライフという新しい生活様式をMM技術により普及させ、地域に根差した人や地域の特徴を巧みに、かつ丁寧にコミュニケーションに織り込んだ事例です。
- 視聴率が高い地域メディア活用の有効性を示した点も評価されます。地域メディアや方言を活用することでブランディングも秀逸です。
- また、当該プロジェクトを軸にした他の取り組みとの連携など、持続的なマネジメントへの発展も期待できることから、プロジェクト賞に選定されました。

京都らくなんエクスプレス —大学・民間・行政が協働で生み出し成長を 続けるバスシステム—

京都大学大学院 低炭素都市圏政策ユニット
株式会社ケイルック
株式会社ジイケイ京都
合同会社京都まちづくり交通研究所
京都市

- バスのサービスとは何かを改めて問い、実践し、利用者に高い満足度を与えている取り組みであり、サービス改善とMMを的確に組み合わせ、利便性向上と採算性の確保を両立した交通システムです。
- 全国的なバスの縮退傾向の中で、新規バス路線の開発、育成が可能であることを実例で証明したことは特筆に値し、全国の見本となる取り組みであることからプロジェクト賞に選定されました。

京都市右京区南太秦学区における 住民参加型バス利用促進MMの継続的实施

右京区南太秦自治連合会(会長:高岡 宏行)

京都市右京区役所

京都市交通局

朝倉 眞一(京都市文化市民局地域自治推進室)

土井 勉(京都大学大学院工学研究科・医学研究科
安寧の都市ユニット)

- 単一地域で長期間にわたり粘り強くコミュニケーションを実施することで、住民の態度・行動変容が徐々に促進された取り組みです。
- WSを通じて、動機づけ冊子も地域に根差したものとするなど、コミットメントを少しずつ高めていく過程が効果的であったと思われます。
- 丁寧で持続的なコミュニケーションの有効性を示した事例として、公共交通利用促進の模範となるプロジェクトとして、JCOMMプロジェクト賞に選定されました。

映画・ラジオ・LRT・シビックプライドを活用した 富山の地域文化の活用と発展を企図した 『とやまレールライフ・プロジェクト』

富山市

株式会社新日本コンサルタント

高原 兄(ミュージシャン)

藤井 聡(京都大学大学院)

- レールライフという新しい生活様式をMM技術により普及させ、地域に根差した人や地域の特徴を巧みに、かつ丁寧にコミュニケーションに織り込んだ事例です。
- 視聴率が高い地域メディア活用の有効性を示した点も評価されます。地域メディアや方言を活用することでブランディングも秀逸です。
- また、当該プロジェクトを軸にした他の取り組みとの連携など、持続的なマネジメントへの発展も期待できることから、プロジェクト賞に選定されました。

京都らくなんエクスプレス —大学・民間・行政が協働で生み出し成長を 続けるバスシステム—

京都大学大学院 低炭素都市圏政策ユニット
株式会社ケイルック
株式会社ジイケイ京都
合同会社京都まちづくり交通研究所
京都市

- バスのサービスとは何かを改めて問い、実践し、利用者に高い満足度を与えている取り組みであり、サービス改善とMMを的確に組み合わせ、利便性向上と採算性の確保を両立した交通システムです。
- 全国的なバスの縮退傾向の中で、新規バス路線の開発、育成が可能であることを実例で証明したことは特筆に値し、全国の見本となる取り組みであることからプロジェクト賞に選定されました。

京都市右京区南太秦学区における 住民参加型バス利用促進MMの継続的实施

右京区南太秦自治連合会(会長:高岡 宏行)

京都市右京区役所

京都市交通局

朝倉 眞一(京都市文化市民局地域自治推進室)

土井 勉(京都大学大学院工学研究科・医学研究科
安寧の都市ユニット)

- 単一地域で長期間にわたり粘り強くコミュニケーションを実施することで、住民の態度・行動変容が徐々に促進された取り組みです。
- WSを通じて、動機づけ冊子も地域に根差したものとするなど、コミットメントを少しずつ高めていく過程が効果的であったと思われます。
- 丁寧で持続的なコミュニケーションの有効性を示した事例として、公共交通利用促進の模範となるプロジェクトとして、JCOMMプロジェクト賞に選定されました。

JCOMMデザイン賞



- モビリティ・マネジメントにおける実務的なプロジェクトにおいて実際に使用されたマップ、リーフレット、フォルダ、アンケート票等の各種ツールの中でも、とりわけ秀逸なデザインがなされた一個、ないしは、一群のツールについて、個人(複数可)あるいは団体(複数可)を対象として授与するものです。
- 「意匠性」、「機能性」、「実務的活用可能性」の3つの視点から評価されます。

「キャラクターやPRソングでイメージ統一したためバス利用促進ツール一式」

草津市都市建設部交通政策課

都市交通システム工学科交通システム研究室

立命館大学理工学部

株式会社地域未来研究所

「どこでもバスブック・バスマップ松江をベースにした様々な情報提供ツール一式」

田中 隆一（特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい）

当別ふれあいバスシリーズ①「みんなのふれバ」

当別ふれあいバスシリーズ②「笑顔のリレー」

当別町 一般社団法人北海道開発技術センター 渡辺 利奈

「キャラクターやPRソングでイメージ統一した まめバス利用促進ツール一式」

草津市都市建設部交通政策課

立命館大学理工学部

都市交通システム工学科交通システム研究室

株式会社地域未来研究所

- 応募されたMMは、統一されたキャラクターを紙、WEB、ラジオなど様々な媒体に展開し、「テーマソング」を作るなど工夫を凝らして、デマンドバスの利用促進に誠実に取り組んだ事例です。
- 市民へのキャラクターへの認知度、浸透度も高く、バス利用者が1.2倍になるなど、効果が出ていることから、**意匠性**、**機能性**と**実務可能性**のバランスが高く評価され、JCOMMデザイン賞に選定されました。

「どこでもバスブック・バスマップ松江を ベースにした様々な情報提供ツール一式」

田中 隆一（特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい）

- 標準的なバスマップだけでなく、実際のバス路線をもとにしたすごろくなど新しいコンセプトのツールを含め、松江らしいデザインで多様なツールを作成しています。
- 具体的には、継続的に発行されているバスブックに加え、バスに関する川柳やエピソードを募集した取り組みや、すごろくに付随するローカルネタのクイズなど、バスや地域への愛着につながる可能性があり、その**実務的可能性**が高く評価されました。

当別ふれあいバスシリーズ①「みんなのふれバ」 当別ふれあいバスシリーズ②「笑顔のリレー」

当別町

一般社団法人北海道開発技術センター

渡辺 利奈

- 紙芝居という新規性のあるツールを、高い完成度で作成した点が評価されました。
- 特に、ターゲットが幼児と明確であり、紙芝居というユニークな媒体もターゲットに適していることから、**機能性と実務的可能性**が期待できるとともに、分かりやすい言葉と鮮やかな色彩の絵柄など、そのすぐれた**意匠**がデザイン賞に相応しいものであると評価され、JCOMMデザイン賞に選定されました。

「キャラクターやPRソングでイメージ統一した まめバス利用促進ツール一式」

草津市都市建設部交通政策課

立命館大学理工学部

都市交通システム工学科交通システム研究室

株式会社地域未来研究所

- 応募されたMMは、統一されたキャラクターを紙、WEB、ラジオなど様々な媒体に展開し、「テーマソング」を作るなど工夫を凝らして、デマンドバスの利用促進に誠実に取り組んだ事例です。
- 市民へのキャラクターへの認知度、浸透度も高く、バス利用者が1.2倍になるなど、効果が出ていることから、**意匠性**、**機能性**と**実務可能性**のバランスが高く評価され、JCOMMデザイン賞に選定されました。

「どこでもバスブック・バスマップ松江を ベースにした様々な情報提供ツール一式」

田中 隆一（特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい）

- 標準的なバスマップだけでなく、実際のバス路線をもとにしたすごろくなど新しいコンセプトのツールを含め、松江らしいデザインで多様なツールを作成しています。
- 具体的には、継続的に発行されているバスブックに加え、バスに関する川柳やエピソードを募集した取り組みや、すごろくに付随するローカルネタのクイズなど、バスや地域への愛着につながる可能性があり、その**実務的可能性**が高く評価されました。

当別ふれあいバスシリーズ①「みんなのふれバ」 当別ふれあいバスシリーズ②「笑顔のリレー」

当別町

一般社団法人北海道開発技術センター

渡辺 利奈

- 紙芝居という新規性のあるツールを、高い完成度で作成した点が評価されました。
- 特に、ターゲットが幼児と明確であり、紙芝居というユニークな媒体もターゲットに適していることから、**機能性と実務的可能性**が期待できるとともに、分かりやすい言葉と鮮やかな色彩の絵柄など、そのすぐれた**意匠**がデザイン賞に相応しいものであると評価され、JCOMMデザイン賞に選定されました。

JCOMM技術賞



- モビリティ・マネジメント実務に資する技術の発展に、顕著な貢献をなした「研究業績」について、個人(複数可)を対象に授与する。
- 「新規性」、「有用性」、「完成度」、「信頼度」ならびに「その他」の視点から評価されます。

「中山間地の高齢者を対象とした モビリティ・マネジメントにおける 世帯訪問・対話の有効性の実証」

神谷 貴浩(中央コンサルタンツ)

佐々木 邦明(山梨大学)

- かねてからその必要性が認識されていたものの、具体的な利用促進方法が明らかではなかった中山間地での公共交通の利用促進に資する技術を提案するものであります。
- 中山間地ならびに、そこで運用されているDRTの特性を十二分に踏まえた上で、家庭訪問のMM施策としての有効性を、実証的なフィールド実験による学術的方法論に基づいて明確に示すもので、学術・実務の両面での貢献が非常に大きいものと評価されました。

JCOMMマネジメント賞



- モビリティ・マネジメントにおける実務的な「一連の持続的マネジメント」の中でも、とりわけ、交通に関連する諸問題の解消に向けて、効果的に推進されている一連の持続的マネジメントについて、個人(複数可)あるいは団体(複数可)を対象として授与するものです。
- 「MMの計画性・戦略性」、「MM推進体制の適切性」、「MM実施の効率性」、「交通上の諸問題の緩和に対する貢献」ならびに「その他」の視点から評価されます。

「歩くまち・京都」実現に向けた スローライフ京都大作戦(プロジェクト)

京都市都市計画局歩くまち京都推進室

一般社団法人システム科学研究所

藤井 聡(京都大学大学院)

当別ふれあいバスの確保・維持に関する 多様な取組み

当別町

有限会社下段モータース

当別町地域公共交通活性化協議会

一般社団法人北海道開発技術センター

「歩くまち・京都」実現に向けた スローライフ京都大作戦(プロジェクト)

京都市都市計画局歩くまち京都推進室
一般社団法人システム科学研究所
藤井 聡(京都大学大学院)

- 政令指定都市であり，かつ観光文化都市である京都市において，市民と観光客の両方を広くターゲットとしたMMです．
- コンセプトとしてスローライフや歩行行為に焦点をあて，京都が本来持つ魅力とうまく取り組みをリンクさせており，また，専任部署を設置して担当者を3名配置することを通じ，取り組みの政策との連動性，継続性を高めています．
- さらにラジオなどのマスコミ活用，宿泊施設からの協賛金による協力など総合的に効果を高めるための工夫が取り込まれていることから，マネジメント賞に選定されました．

当別ふれあいバスの確保・維持に関する 多様な取組み

当別町

当別町地域公共交通活性化協議会

有限会社下段モータース

一般社団法人北海道開発技術センター

- 小規模な自治体でありながら、毎年OD調査を実施して、住民のニーズにあった路線見直し、ダイヤ改善が行われています。
- このプロジェクトは平成22年度にプロジェクト賞を受賞していますが、受賞後も国の助成に頼らない持続可能な運行の仕組みを法定協議会を通じて構築するとともに、地域性に配慮した普及啓発も一層促進が展開されています。
- 取り組みが地域自体を変えつつあることが伺われるとともに、大きな都市でなくともこれだけの活動とその継続が可能であるということが評価されたことから、マネジメント賞に選定されました。

「歩くまち・京都」実現に向けた スローライフ京都大作戦（プロジェクト）

京都市都市計画局歩くまち京都推進室
一般社団法人システム科学研究所
藤井 聡（京都大学大学院）

- 政令指定都市であり，かつ観光文化都市である京都市において，市民と観光客の両方を広くターゲットとしたMMです．
- コンセプトとしてスローライフや歩行行為に焦点をあて，京都が本来持つ魅力とうまく取り組みをリンクさせており，また，専任部署を設置して担当者を3名配置することを通じ，取り組みの政策との連動性，継続性を高めています．
- さらにラジオなどのマスコミ活用，宿泊施設からの協賛金による協力など総合的に効果を高めるための工夫が取り込まれていることから，マネジメント賞に選定されました．

当別ふれあいバスの確保・維持に関する 多様な取組み

当別町

当別町地域公共交通活性化協議会

有限会社下段モータース

一般社団法人北海道開発技術センター

- 小規模な自治体でありながら、毎年OD調査を実施して、住民のニーズにあった路線見直し、ダイヤ改善が行われています。
- このプロジェクトは平成22年度にプロジェクト賞を受賞していますが、受賞後も国の助成に頼らない持続可能な運行の仕組みを法定協議会を通じて構築するとともに、地域性に配慮した普及啓発も一層促進が展開されています。
- 取り組みが地域自体を変えつつあることが伺われるとともに、大きな都市でなくともこれだけの活動とその継続が可能であるということが評価されたことから、マネジメント賞に選定されました。

是非、
各賞の展示をご覧ください！